

DIXIA

9インチ フルセグ ポータブルDVDプレーヤー

型番: DX-PDV923FSW

取扱説明書



このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。事前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解した上でご使用ください。また、「安全上のご注意」「使用上のご注意」の内容を必ずお守りください。

※イラストはイメージです。実際の外観と異なる場合がございます。

※製品の的外観・仕様は予告無く変更される場合があります。予めご了承ください。

※この製品は日本国内でのみご使用になれます。

保証書付

この取扱説明書
の巻末に保証書
がついています

本製品でできること

DVDを再生する

音楽CDを再生する

CD-R／USB／SDカードのファイルを再生する

テレビ放送を視聴する

外部機器を接続する／外部モニタを接続する

使用方法の各ページの端に機能ごとにタブをつけています。ページの検索にご利用ください。

仕様表

品 名	9 インチフルセグ搭載ポータブルDVDプレーヤー
品 番	DX-PDV923FSW
電 源	DC12V 1.5A
消 費 電 力	18W
テレビ受信チャンネル	フルセグ (地上デジタル放送・ワンセグ放送対応)
画 面	9 インチ TFT 液晶 16 : 9 解像度 : 800×480
外 部 出 力 端 子	AV 出力端子／イヤホン端子(φ3.5 ミニジャック)
外 部 入 力 端 子	AV 入力端子(φ3.5 ミニジャック)
インターフェース	USB2.0 SD カードスロット(8GB まで対応) miniB-CAS カード挿入口
ス ピ ー カ ー 出 力	2W×2
充 電 池 性 能	DC7.4V / 1800mAh
充 電 再 生 時 間	充電時間：約 4 時間／再生時間：約 2 時間(TV 視聴：約 1.5 時間) ※充電再生時間は環境により変化する場合があります。
推 奨 動 作 温 度	0 ～ 40℃
対 応 フ ォ ー マ ッ ト	※6 ページ参照
寸 法	約 26(幅)×19(奥行き)×4.5(高さ)cm ※折りたたみ時
重 量	約 900 g (本体のみ)
付 属 品	取扱説明書、保証書、リモコン、AC アダプター、イヤホン、 車載用シガーソケットアダプター、AV ケーブル、 車載用バッグ、ケーブル付きアンテナ、miniB-CAS カード

※製品仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

目 次

本製品でできること	2
1. 安全上のご注意	4
2. 使用上のご注意	6
2-1. 本製品で利用できるメディア	6
2-2. 免責について	7
2-3. miniB-CASカードについて	7
2-4. テレビの受信について	7
3. 内容物の確認	8
4. 各部の名称と機能	
4-1. 本体	9
4-2. リモコン	11
※モニタ部分の開き方／回転方法	12
5. セットアップ	
5-1. 電源の接続と充電について	13
5-2. リモコンのセットアップ（電池の入れ方）	14
5-3. イヤホン／ヘッドホンの接続	14
6. 使用方法	
6-1. DVDを再生する	15
※ビデオCDの再生について	19
6-2. 音楽CDを再生する	21
6-3. CD-R／USBメモリ／SDカードのファイルを再生する	23
6-4. テレビ放送を視聴する	27
6-5. 外部機器を接続する	30
6-6. 外部モニタを接続する	30
7. 各種設定	31
7-1. 一般設定	32
7-2. オーディオ設定	32
7-3. ビデオ設定	32
7-4. 初期設定	33
8. メンテナンス	33
9. トラブルシューティング	34
10. アフターサービスについて	35
製品保証書	巻末

1 安全上のご注意

この項目では、人への危害や財産の損害を防ぐための注意事項を説明しています。本取扱説明書で使用する各マークには下記の意味があります。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険があります。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人的および物的損害が発生する危険があります。

■絵表示と絵表示の意味



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



●指定された電源で使用する。

本製品は定められた家庭用電源(AC100V)でご使用ください。



●本製品を分解・改造しない。コードを切断・加工しない。

火災・感電・故障の原因になります。また、カバーを外して本体内部の部品などに触れると感電やけがの原因となります。故障の際はご自分で修理や点検をなさらず、販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。



●水やその他液体、薬品をかけない。火中に投げ入れない。

火災・感電・故障・爆発の原因になります。本製品が濡れないようご注意くださいほか、湿気の高い環境での使用も避けてください。



●本製品内部に異物を入れない。

火災・感電・故障・爆発の原因になります。



●故障が疑われる場合はただちにACアダプタをコンセントから抜く。

本製品を落下させた場合、異物が内部に入ってしまった場合、水をかけてしまった場合、煙が出ている、異臭がするなど異常を感知した場合等、故障が疑われる場合はただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはサポートセンターへご連絡ください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



●本体は平らで安定した台の上に設置する。

落下するとけが、故障の原因となります。

⚠ 警告(車内で使用する場合)



- シガーソケット電源で使用する場合、DC12Vマイナスアース車でのみ使用する。
指定された電源で使用してください。故障や感電、火災の原因となります。



- 運転中、運転中は本製品を視聴・操作しない。運転の支障になる位置に本製品を設置しない。 重大な事故の原因となります。



- 大音量で使用しない。
運転中、外部の音が聞こえないほどの音量で使用しないでください。重大な事故の原因となります。



- 落下の危険のない場所に設置する。
落下の危険のない場所にしっかりと固定して設置してください。故障やケガなどの原因となります。

⚠ 注意



- 水気の多い場所、ほこりや油煙の多い場所(工場内など)、高温になる場所での使用は避ける。車内に放置しない。
故障や感電の原因となります。



- 破損や変形したディスク、故障やウイルス感染が疑われるUSBメモリやSDカードを接続しない。
ディスクは高速で回転するため、破損・変形したディスクをセットすると強い遠心力が働き、本製品が故障する可能性があります。また、故障やウイルス感染が疑われるUSBメモリやSDカードを接続すると、本製品のシステムが故障する可能性があります。



- お手入れの際は必ず電源を外して行う。
感電の原因となります。



- 本製品の上にものを載せない。
本体が変形・破損する可能性があります。



- 長時間で使用にならない場合はACアダプタを外す。
過熱や過充電により、故障や火災の原因となります。

2 使用上のご注意

2-1. 本製品で再生できるメディア

本製品は下記のディスク／メディアの再生に対応しています。

ディスク／メディアの種類	説明
●DVD ビデオ 	○市販の DVD ビデオ ○DVD-VR 形式で地デジ放送を録画した DVD-R/RW ※CPRM 対応
●音楽 CD / ビデオ CD  	○市販の音楽 CD / ビデオ CD ○音楽 CD 形式で記録した CD-R
●CD-R / USB メモリ / SD (SDHC) カード	○MP3 / WMA / AVI (最大解像度: 720×576) / MPEG / MPEG2 / FLV / JPEG ファイル ※USB メモリ / SDHC カードは 8GB まで対応

※DVD/CDは12cmのDVD/CDのみ再生可能です。シングルCD/DVD(8cm)は再生できません。

※ファイナライズ処理を行っていない書き込み可能ディスクは再生できません。

※ブルーレイ方式のDVDは再生できません。

※上記形式以外で記録した各種DVDは再生できません。

※上記形式のディスクであっても、ディスクのメーカー、記録に使用したドライブなどの種類によっては、本製品との相性の問題により、再生ができない場合がございます。ご了承ください。

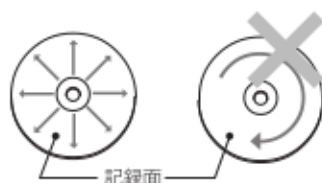
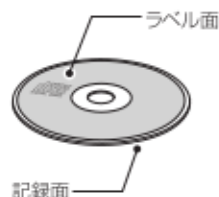
※パソコンで記録したDVDは再生できません。



DVD / CD 取り扱い上のご注意

ディスクの記録面（印字されていない方の面）に汚れや傷があると正常に再生できなくなります。ディスクの取扱には十分にご注意ください。記録面の汚れは柔らかい布、または専用のクリーニングキットを用いて拭き取ってください。拭き取る際は必ずディスクの中心から外側へ向かって放射状に拭き取ります。

また、ラベル面に大きな傷がある場合なども正常に再生できなくなりますので、取り扱いにはご注意ください。鑑賞後のディスクは必ずケースに収納の上保管してください。



2-2. 免責について

DVDやCD、各メディアファイルには様々な規格の違いがあるため、6ページの対応表にかかわらず、本製品で再生できない場合がございます。あらかじめご了承ください。また、本製品で使用したことにより、ディスクの破損、USBメモリやSDカードの故障、データの消失、接続機器の故障などが起こった場合、いかなる事由によりましても弊社では一切修理・補償を行うことができません。あらかじめご了承ください。

2-3. mini B-CASカードについて

本製品でテレビ放送を受信する際には、付属の mini B-CAS カードの常時挿入が必要です。mini B-CAS カードを挿入されていない場合は、デジタル放送の視聴はできません。27 ページを参照し、本体左側面にあるスロットに、正しく挿入してください。

miniB-CAS
地上デジタル専用

(株) B-CAS ★★
TEL 0570-000-250
所有権は当社に属します

- mini B-CAS カードの台紙の内容を必ずお読みになり、同意の上カードをはがしてください。カードをはがすと契約内容に同意したことになります。
- mini B-CAS カード裏面の IC 端子部に手を触れないようご注意ください。
- mini B-CAS カードを SD カードスロットに、また SD カードを mini B-CAS カードスロットに挿入しないでください。取り出せなくなり、故障の原因となります。
- mini B-CAS カードの契約内容についてのお問い合わせ、また破損や紛失の場合の交換については、
(株) B-CAS 電話 0570-000-250
までお問い合わせください。

2-4. テレビの受信について

本製品では、地上波デジタル放送（フルセグ放送）とワンセグ放送の両方の視聴が可能です。ただし、視聴エリアや受信環境によって、付属のアンテナでは受信感度が十分でなく、テレビを視聴できない場合がございます。特にフルセグ放送を視聴されたい場合は、ご家庭の壁面アンテナ端子との接続をおすすめいたします（アンテナケーブルは別売り）。電波環境と使用状態によりテレビが視聴できない場合は、故障ではございませんのでご了承ください。

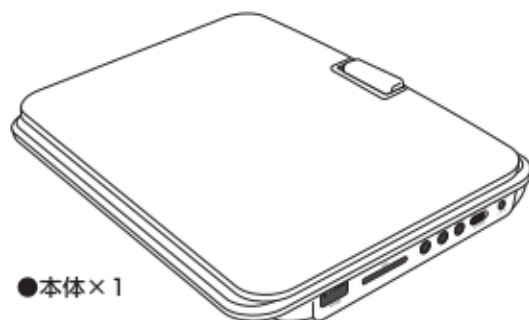
- フルセグ放送を視聴中に受信感度が低下すると自動的にワンセグ放送の受信に切り替わります。その際、一時的に画面が乱れたり、フリーズすることがございます。
- ワンセグ放送では、解像度の問題により画質が鮮明でなく、動きがスムーズではありません。これは規格によるもので、故障ではございませんのでご了承ください。また、携帯端末でワンセグ視聴ができる場合でも、本製品では視聴できない場合がございます。
- フルセグ放送、ワンセグ放送共に、デジタル放送では受信感度が十分でない場合画面にブロックノイズが出たり、動きがぎこちなくなる、またはフリーズすることがございます。その場合はアンテナの受信感度を確認、調整してください。

3 内容物の確認

パッケージには本体のほかに、各付属品が同梱されています。

本体や付属品を箱から取り出す際には、破損しないよう十分ご注意ください。

※はじめから破損していたり付属品が不足している場合には、ご購入店までお問い合わせください。



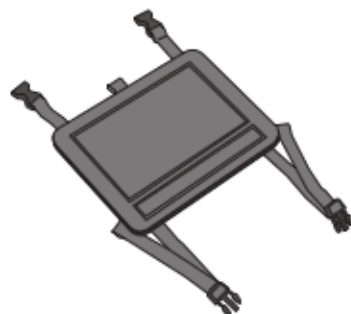
●本体×1

●取扱説明書兼製品保証書（本書）



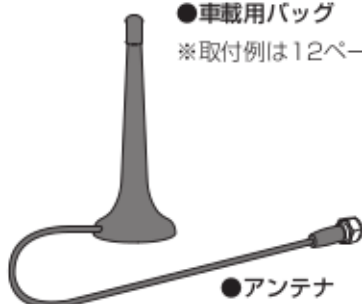
●miniB-CASカード×1

※封入台紙一式



●車載用バッグ

※取付例は12ページ



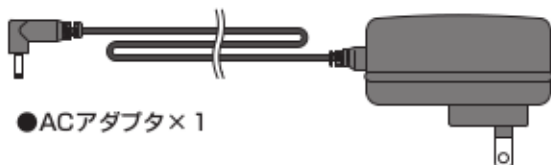
●アンテナ



●リモコン×1



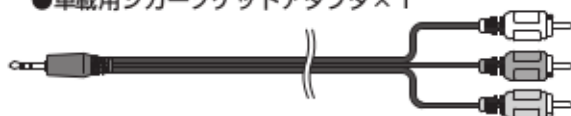
●イヤホン×1



●ACアダプタ×1



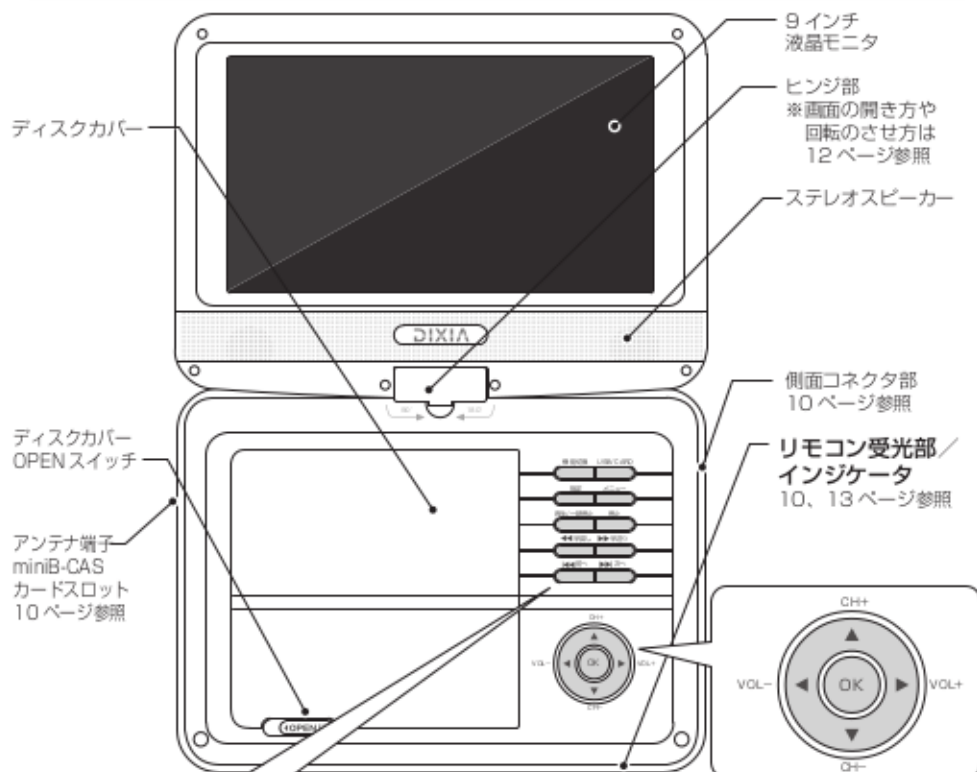
●車載用シガーソケットアダプタ×1



●AVケーブル×1

4 各部の名称と機能

4-1. 本体



◀ ▶ ▲ ▼	設定画面等でカーソルの移動
OK	選択した項目の決定 / 再生等
CH+ CH- (▲ ▼) と共用	テレビモード時、チャンネルの切換
VOL+ VOL- (◀ ▶) と共用	音量の調節 (0~20)

機能切換	外部入力 / TV モードへの切換
設定	設定画面の表示 / 終了
メニュー	メニュー画面の表示
USB/CARD	再生メディアの切換 / TV モード時、チャンネルサーチ
再生/一時停止	再生の開始 / 一時停止
停止	再生の停止 (一度押すと仮停止、二回目で停止)

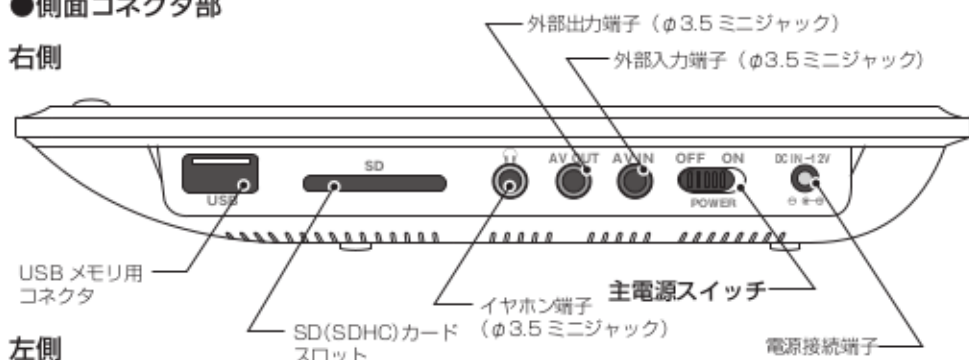
早送り 早戻り	DVD、CD、各種ファイル再生時、早送り / 早戻し
前へ 次へ	DVD、CD、各種ファイル等再生時、前後のチャプター、トラック、ファイルへスキップ

CD-R / USB / SD (SDHC) カードなどに記録された各種ファイルの再生時、表と異なる機能の割り当てがある場合があります。詳しくは使用方法のページを参照してください。
DVD タイトルによっては、予告編再生時にメニュー表示やスキップの操作が無効にされている場合があります。

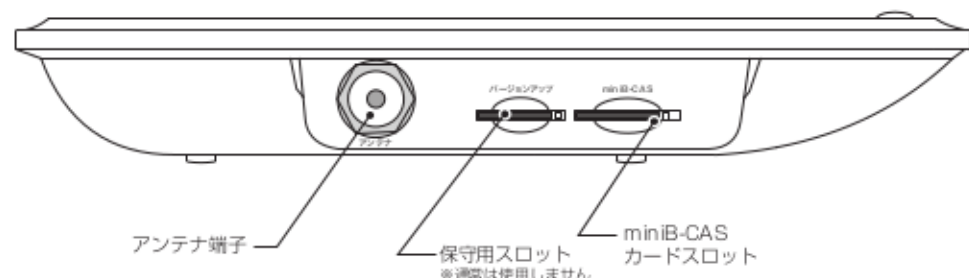
また、リピート再生やプログラム再生など、本体のボタンでは行えない操作はリモコンをご使用ください。

●側面コネクタ部

右側



左側



「バージョンアップ」スロットはシステム保守用です。何も挿入しないでください。起動しなくなるなど、システムが故障する原因となります。

●リモコンの操作可能範囲について

リモコン受光部は右図の位置にあります。リモコンの操作可能範囲は受光部を中心に約 60°、距離は障害物がない状態で約 2m です。本体の設置環境により、リモコンの操作範囲にご注意ください。

リモコン受光部



4-2. リモコン



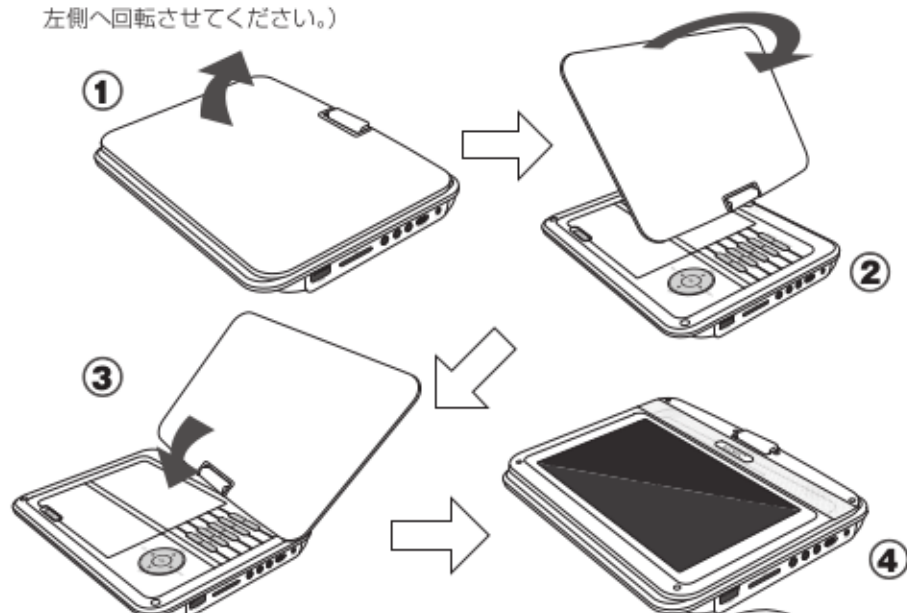
機能切換	TV / 外部入力モードへの切換
USB/SD/サーチ	再生メディアの切換 (ディスク / USB メモリ / SD カード) / TV モード時、チャンネルサーチ
液晶画面オン/オフ	画面のオン/オフ切換
画面サイズ	画面サイズを16 : 9 / 4 : 3で切換
音 声	DVD 再生時、音声トラックの切換。TV モード時は主音声 / 副音声切換
字 幕	DVD 再生時、字幕の切換
アングル	DVD 再生時、アングルの切換 (対応ディスクのみ)
ズーム	動画 / 静止画再生時、拡大 / 縮小表示
プログラム EPG	DVD・音楽 CD 再生時、プログラム再生の設定 / TV モード時、番組表を表示
1 ~ 9 10+ 0/10	DVD・音楽 CD 再生時、入力した数字のチャプターへスキップ / その他、数字の入力
設 定	設定画面の表示 (TV モード時は専用設定画面表示、それ以外はシステム設定画面を表示)
表 示	DVD・音楽 CD 再生時、再生経過時間、残り時間、チャプター (トラック) などの表示切換 / TV モード時、チャンネルリスト表示
音量+ 音量-	音量の調節 (0 ~ 20)
消 音	音量を一時的に0にする。もう一度押すと解除

メニュー	DVD 再生時、メニュー画面の表示 もう一度押すと最後に再生した画面に戻る
タイトル	DVD 再生時、タイトル画面の表示 メニュー / タイトル画面については 17 ページ参照
◀ ▶ ▲ ▼	設定画面等でのカーソルの移動
▲ ▼ ※TV モード時	チャンネル切換
決 定	選択した項目の決定 / 再生 等
◀◀ ▶▶	DVD / 音楽 CD / 各種ファイル再生時、早送り / 早戻し
◀◀ ▶▶	DVD / 音楽 CD / 各種ファイル再生時、前後のチャプター (トラック) へスキップ
■	再生の停止 (一度押すと仮停止、二回目で停止)
▶▶	再生の開始 / 一時停止
スロー	DVD / 各種動画再生時、スロー再生の開始。▶▶ ボタンで解除
リビート	DVD / 音楽 CD / 各種動画音楽ファイル再生時、リビートモードの切換



モニタ部分の開き方／回転方法

本製品のモニタ部分は右側へ 90°、左側へは 180° 回転させることができ、タブレット型に変形させることもできます。(タブレット型に変形させる時は、図のように必ず左側へ回転させてください。)



タブレット型に変形させた本体は車載用ケースに収納し、図のように車の座席の後ろに固定することができます。



本製品を車内に放置したままにしないでください。

真夏・真冬の車内等、過酷な状況下での使用や放置は故障や事故の原因となり大変危険です。ご使用後は、本体を取り外して保管してください。



右側へは 90° までしか回転しません。無理に回そうとしたり、必要以上に力をかけて開閉操作をするとヒンジ部が破損し、故障の原因となります。モニタ部分の開閉や回転は適切な方向を確認しつつ行ってください。



5 セットアップ

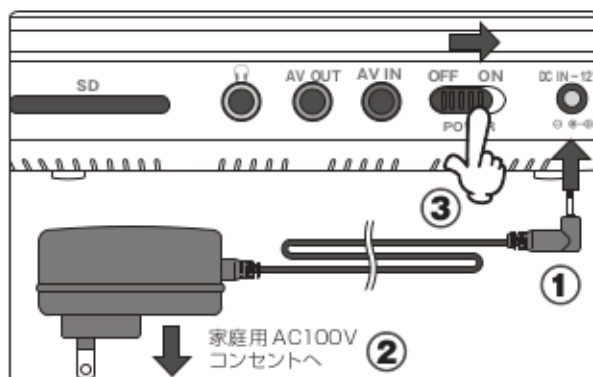
5-1. 電源の接続と充電について

●家庭用電源コンセントで使用する場合

付属のACアダプタで本体側面の「DC IN」端子と家庭用100Vのコンセントに接続します。



はじめて使用する場合は、15ページを参照してディスクカバーを開け、保護シートを取り除いてから電源をONにしてください。



主電源 ON までの手順

①AC アダプタのプラグを本製品側面の「DC IN」端子に接続します。

②AC アダプタをコンセントに接続します。

③側面の主電源スイッチをスライドさせて「ON」にします。

※電源が ON になると、右側のインジケータが緑色に点灯します。(下図参照)

●充電について

本製品には充電電池が内蔵されています。

電源が接続され、充電電池が充電可能な状態になっている場合、自動的に充電が始まります。(充電が100%の場合は充電されません)

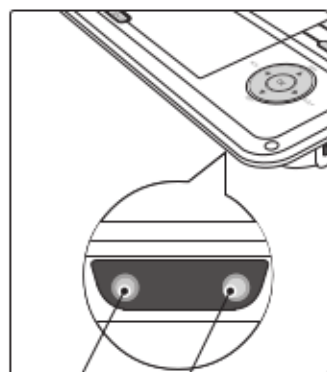
充電中は左側のインジケータが赤色に点灯します。

満充電までの充電時間：約4時間

満充電からの動作時間：約2時間(DVD再生)

約1.5時間(TV視聴)

※充電電池は使用するにしたがって性能が劣化していきます。上記時間は目安ですので、性能を保証するものではありません。

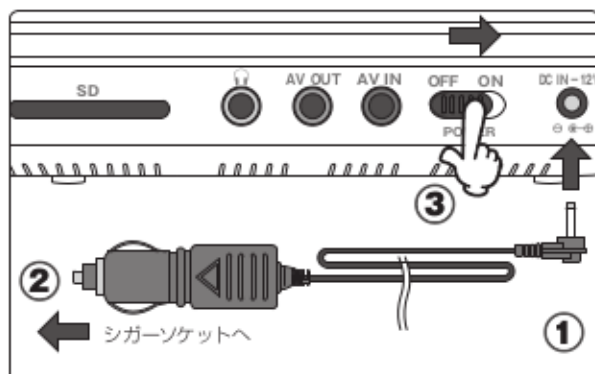


電源 ON 時、スタンバイ時に緑色に点灯します

充電中に赤く点灯し、充電完了時に緑色に点灯します

●車載用シガーソケットで使用する場合

付属の車載用シガーソケットアダプタを使用し、本体側面の「DC IN」端子と車のシガーソケットを接続します。



12V マイナスアース車専用です。24V 車、プラスアース車のシガーソケットに接続しないでください。

また、コードの取り回しは運転に支障のないよう、十分ご注意ください。

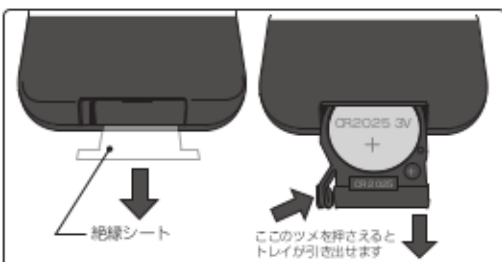
5-2. リモコンのセットアップ

はじめてご使用になる時は、絶縁シートを引き抜いてください。(電池はあらかじめセットされています。)

電池を交換する際はツメを押さえながらトレイを引き出し、ボタン電池を交換してください。

電池はCR2025をご用意ください。

※製品付属の電池は動作確認用です。通常品よりも寿命が短い場合があります。

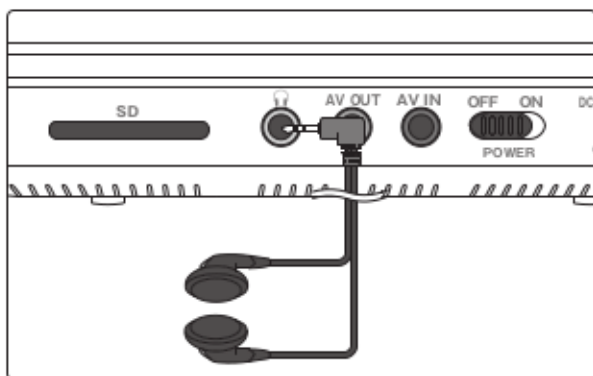


5-3. イヤホン／ヘッドホンを接続する

付属、または市販のイヤホン／ヘッドホンを接続することができます。右図のようにイヤホン端子に接続します。

市販のイヤホン／ヘッドホンを使用する場合はφ3.5ミニジャックのものをご用意ください。

イヤホン／ヘッドホン接続中は本体スピーカーから音声は再生されません。



6 使用方法

6-1. DVDを再生する

●ディスクのセット

電源をONにする前にディスクをセットします。

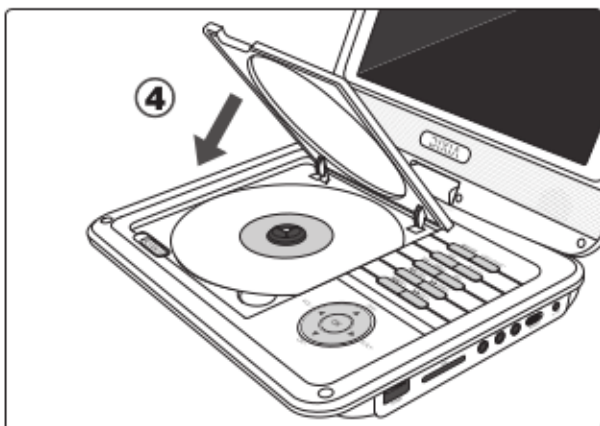
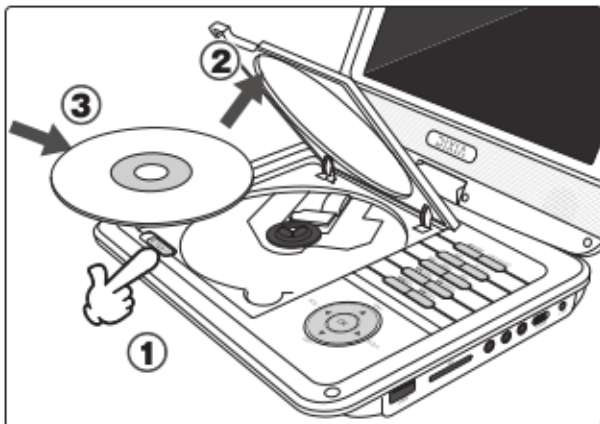
(電源をONにしたままディスクを交換する場合は、再生が停止し、ディスクの回転が停止した状態でディスクカバーを開けてください。)

①ディスクカバーオープンスイッチを左にスライドさせます。

②カバーが開きます。

③ディスクをセットします。中心部の突起にしっかりと固定させてください。

④カバーを閉じます。



再生可能なディスクは6ページを参照してください。

本製品は精密機器です。読み取りレンズや内部の精密部品に手を触れないようご注意ください。故障やケガの原因となります。

また、ディスク回転中にカバーを開きますと、故障やケガの原因となります。

●再生する

ディスクをセットし、電源をONにすると(13ページ参照)初期画面(右図)が表示され、ディスクの読み込みがはじまります。左上にディスク種別(ロード中→DVD video)が表示されます。(USBメモリやSDカードがセットされている場合でも、ディスクが優先して読み込まれます)

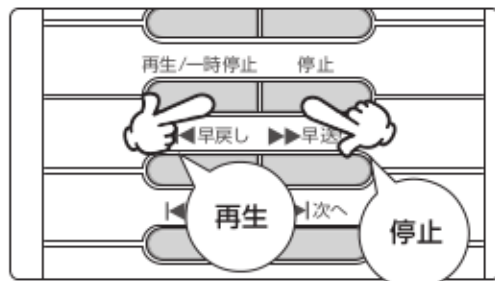


ディスクが読み込まれると、自動的に再生が始まります。

停止状態から再生を開始するには、本体の

再生/一時停止 ボタン、またはリモコンの **▶||** ボタンを押します。

再生中、**再生/一時停止** または **▶||** ボタンを押すと一時停止します。一時停止中、画面は表示されたままです。もう一度押すと一時停止が解除されます。



●停止するには

再生を停止するには本体の**停止** ボタン、またはリモコンの **■** ボタンを押します。一回押すと停止した場面をレジューム(記憶)します。この状態でもう一度再生すると、レジュームした場面から再生が始まります。

レジューム状態でもう一度**停止** ボタンまたは **■** を押すと、ディスクの回転が停止します。再度再生した場合、ディスクの先頭から再生されます。





DVDの構成について



DVD videoは、1つ以上の「タイトル」と、その中に収録された複数の「チャプター」で構成されています。チャプターは音楽CDの「トラック」に相当します。「タイトル」の数はDVDによって異なりますが、通常の映画が収録されている市販のDVDやレンタル用DVDの多くでは、映画本編のほかに予告編や特典映像などが別の「タイトル」として収録されています。

DVDには動画だけでなく「メニュー」が用意されている場合があります。ここで音声や字幕の設定、チャプターへのスキップなどが行えるようになっています。メニューはルートメニューのみの場合や、用意されていない場合などもあります。

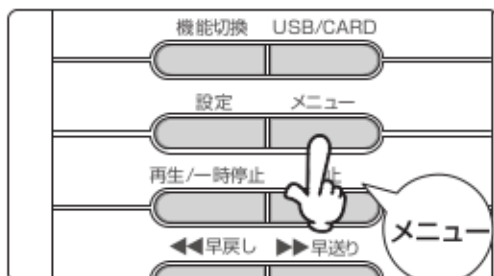
DVDを再生する

●メニューの操作

DVD 再生中、メニュー画面を表示させるには本体の**メニュー**ボタン、またはリモコンの**メニュー**ボタンを押します。ルートメニューが存在しない場合はディスクの先頭から再生されます。

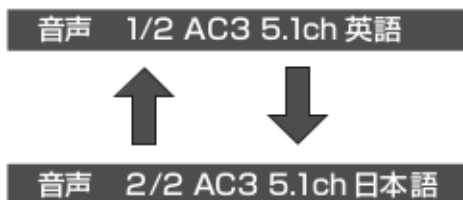
※レンタル用 DVD などでは、予告編再生中にメニュー画面表示やスキップ操作が無効に設定されている場合があります。

メニュー画面ではリモコンの**左右**ボタンでカーソルを移動させて選択し、**決定**ボタンで決定します。(本体側の**左右**ボタン、**OK**ボタンでも操作可能です。9ページ参照)



●音声切換

メニュー画面で操作しなくても、再生中に音声トラックを切り替えることができます。(音声トラックが複数ある場合) リモコンの**音声**ボタンを押します。画面左上に選択中の音声トラック名が表示されます。



●チャプター／タイトルのスキップ

○前後のチャプターへのスキップ

再生中、本体の **◀前へ** **▶次へ** ボタン、またはリモコンの **◀◀** **▶▶** ボタンを押すと前後のチャプターにスキップすることができます。

○任意のチャプターへのスキップ

リモコンの数字ボタンを押すと任意のチャプターへスキップできます。

例：チャプター3へスキップしたい場合→ **3** ボタンを押す
 チャプター15へスキップしたい場合→ **10+** **5** の順でボタンを押す

●画面サイズの切換

画面表示中、**画面サイズ** ボタンを押すと画面サイズを16：9と4：3で切り換えることができます。DVD 再生時だけでなく、すべてのモードで有効です。

●早送り／早戻し／スロー再生

再生スピードを変えることができます。

再生中、本体の **◀早戻し** **▶早送り** ボタン、またはリモコンの **◀◀** **▶▶** ボタンを押すと早送り／早戻し再生をすることができます。スピードはボタンをおすごとに×2、×4、×8、×16、×32で切り替わり、**▶▶** ボタン（本体の **OK** または **再生／一時停止** ボタン）を押すと通常の再生速度に戻ります。

また、リモコンの **スロー** ボタンを押すとスロー再生をすることができます。スピードはボタンを押すごとに×1/2、×1/4、×1/8、×1/16、逆再生×1/2、×1/4、×1/8、×1/16の順序で切り替わり、**▶▶** ボタンを押すと通常の再生速度に戻ります。

再生速度は画面右上に表示されます。（約5秒後表示は消えます。）

●リピート再生

チャプター、タイトル、ディスク全体単位でリピート（繰り返し）再生を設定することができます。再生中にリモコンの **リピート** ボタンを押すごとに、「再生中のチャプターのみ」「再生中のタイトル」「ディスク全体」「リピート解除」の順でリピート設定が切り替えられます。リピートモードは画面左上に表示されます。

●再生経過時間等の表示

画面に再生経過時間や残り時間などの情報を表示させることができます。

再生中にリモコンの **表示** ボタンを押します。「タイトル再生時間」「タイトル残り時間」「チャプター再生時間」「チャプター残り時間」「表示なし」の順番で表示が切り替わります。



●字幕切換

字幕が収録されている DVD の場合、再生しながら切り替えることができます。

再生中にリモコンの **字幕** ボタンを押します。字幕の切換はボタンを押してから少し時間を要する場合があります。

●音量調節

音量を調節するには、本体の **音量-** **音量+** ボタン、またはリモコンの **音量+** **音量-** ボタンを押します。音量は0～20の間で調節できます。

また、**消音** ボタンを押すと一時的に再生音量を「0」にすることができます。もう一度押すと解除されます。

●拡大表示（ズーム）

再生画面を拡大／縮小表示させることができます。

リモコンの **ズーム** ボタンを押します。倍率は2・3・4・1/2・1/3・1/4・1倍の順序で切り替えできます。

拡大表示中は **◀▶▲▼** ボタンで表示位置を変えることができます。



ビデオ CD の再生について

本製品はビデオ CD の再生に対応しています。

再生手順は DVD とほぼ共通です。PBC（プレイバックコントロール）に対応したビデオ CD の場合、**メニュー** ボタンまたは **タイトル** ボタンを押すと DVD のメニューに相当する機能を利用することができます。

※ビデオ CD はその規格上、DVD よりも画質が劣ります。解像度が低いため、本製品で再生すると映像が乱れているように感じられる場合がありますが、故障ではありません。

●プログラム再生

チャプターを任意の順序で再生させることができます。異なるタイトルに含まれるチャプターもプログラムすることができます。

- ①再生中にリモコンの **プログラム/EPG** ボタンを押します。プログラム設定画面が表示されます。

- ②一番目に再生するタイトル番号／チャプター番号をリモコンの数字ボタンで入力します。

一桁の数字はそのまま、二桁の数字は **10+** ボタンを十の位の数だけ押してから、一の位の数字を数字ボタンで入力します。

例：15 の場合→ **10+** **5**

23 の場合→ **10+** **10+** **3**

※存在しない番号は入力無効になります。

※タイトルが一つしかないDVDの場合、チャプター番号のみを入力します。

- ③「01」の入力が終わると自動的にカーソルが「02」に移動します。

続けて再生したいタイトル番号／チャプター番号を入力します。

すでに入力した番号を修正するには、カーソルを修正したい番号の行に移動させ、入力しなおしてください。

カーソルは **◀▶▲▼** ボタンで移動させます。

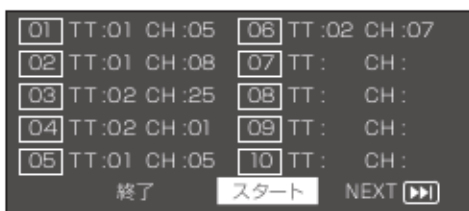
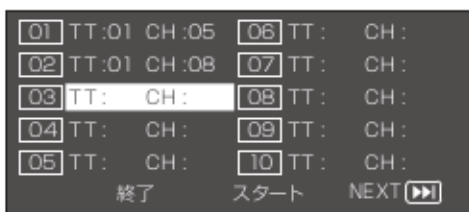
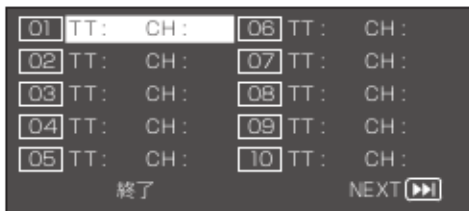
プログラムは最大 20 件まで設定できます。11 件目以後を入力する場合は **▶▶** ボタンを押すか、「次のページへ」にカーソルをあわせて **決定** ボタンを押します。

- ④すべて入力し終わったらカーソルを「スタート」にあわせて **決定** ボタンを押します。

プログラムされた順序で再生されます。

※「終了」を選択するとプログラム再生はされず、入力された内容も解除されます。

- ⑤プログラムを解除するには、**■** ボタンを二回押して再生を「停止」させます。



6-2. 音楽CDを再生する

●ディスクのセット

15ページの手順で音楽CDをセットします。

●再生する

ディスクをセットし、電源をONにすると(13ページ参照)初期画面が表示され、ディスクの読み込みがはじまります。

左上に現在の状態(ロード中→CD)が表示されます。

(USBメモリやSDカードがセットされている場合でも、ディスクが優先して読み込まれます)



ディスクが読み込まれると、自動的に再生が始まります。

再生中は演奏中のトラック番号／総トラック数とトラックの再生経過時間が表示されます。(表示時間を残り時間、総経過時間、総残り時間等に切り替えるにはリモコンの

表示 ボタンを押します)

停止状態から再生を開始するには、本体の

再生/一時停止 ボタン、またはリモコンの

▶|| ボタンを押します。

再生中、**再生/一時停止** または **▶||** ボタンを押すと一時停止します。一時停止中、画面は表示されたままです。もう一度押すと一時停止が解除されます。



●停止するには

再生を停止するには本体の**停止** ボタン、またはリモコンの **■** ボタンを押します。一回押すと停止したところをレジューム(記憶)します。この状態でもう一度再生すると、レジュームしたところから再生が始まります。

レジューム状態でもう一度**停止** ボタンまたは **■** を押すと、ディスクの回転が停止します。再度再生した場合、ディスクの先頭から再生されます。

●トラックのスキップ（選曲）

○前後のトラックへのスキップ

再生中、本体の **◀前へ** **▶次へ** ボタン、またはリモコンの **◀◀** **▶▶** ボタンを押すと前後のトラックにスキップすることができます。

○任意のトラックへのスキップ

リモコンの数字ボタンを押すと任意のトラックへスキップできます。

例：トラック3へスキップしたい場合→ **3** ボタンを押す
 トラック15へスキップしたい場合→ **10+** **5** の順でボタンを押す

数字ボタンを押すと左上に入力したトラック番号が表示され、そのトラック番号にスキップします。

トラック No. を選択：03/21

●早送り／早戻し（サーチ）

再生中、本体の **◀◀早戻し** **▶▶早送り** ボタン、またはリモコンの **◀◀** **▶▶** ボタンを押すと早送り／早戻し再生をすることができます。（早送り／早戻し中は音声は再生されません。）スピードはボタンを押すごとに×2、×4、×8、×16、×32で切り替わります。

▶▶ ボタン（本体の **OK** ボタン、**再生/一時停止** ボタン）を押すと通常の再生に戻ります。

●リピート再生

1曲のみ、またはCD内の全曲をリピート（繰り返し）再生することができます。

再生中にリモコンの **リピート** ボタンを押すと、「再生中のトラックのみ」「CD 全体」「リピート解除」の順でリピート設定が切り替えられます。

リピートモードは画面左上に一定時間のみ表示されます。

●音量調節

音量を調節するには、本体の **音量-** **音量+** ボタン、またはリモコンの **音量+** **音量-** ボタンを押します。音量は0～20の間で調節できます。

また、**消音** ボタンを押すと一時的に再生音量を「0」にすることができます。もう一度押すと解除されます。

●プログラム再生

再生する曲順をあらかじめ設定しておくことができます。

プログラム再生の手順はDVDでの操作と同一です。20ページ参照してください。

異なる点は、音楽CDではタイトル番号の入力欄がありません。トラック番号のみを入力していきます。

6-3. CD-R/USBメモリ/SDカードのファイルを再生する

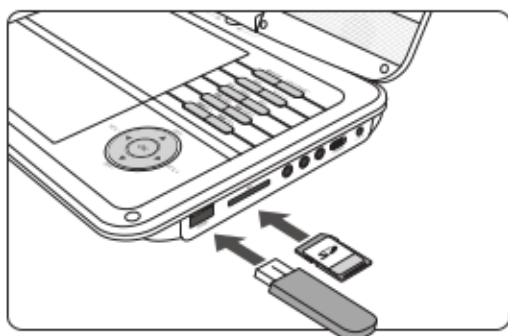
●メディアのセットと切替について

CD-Rのセット方法はDVDと同一です。
(15ページ参照)

USBメモリとSDカードは本体側面の
スロットに接続します。

メディアをいずれか一つだけセットした
場合、電源をONにすると自動的にその
メディアが読み込まれます。複数のメディ
アをセットした場合、CD-R→USBメモ
リ→SDカードの優先順位で読み込みが
行われます。

読み込みたいメディアを切り替えるには、本体の **USB/CARD** ボタン、またはリモコンの
USB/SD/サーチ ボタンを押します。

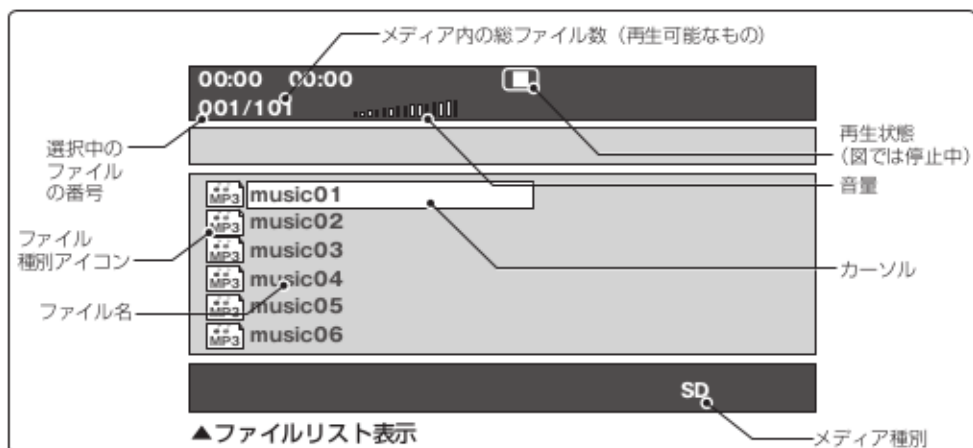


USBメモリ、SDカードは読み込み中・再生中に取り外さないでください。各メディアおよび本製品の故障の原因となります。

●ファイルの表示

ファイルが読み込まれると、メディア内にある再生可能な存在する場合、自動的にファイルが再生されます。動画ファイル、画像ファイル、音楽ファイルにかかわらず、ファイルリストの先頭のファイルから連続再生されます。(はじめに再生されたファイルと同種類のファイルのみ)

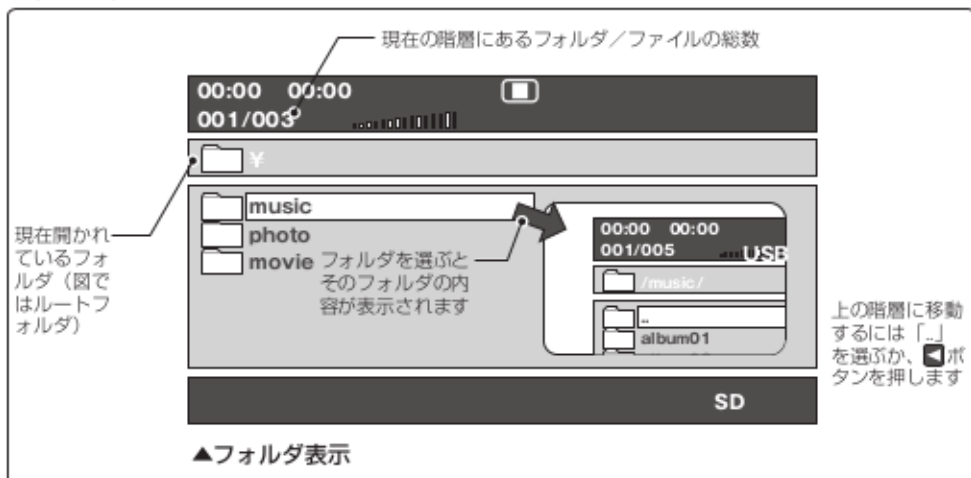
■ ボタンで再生を停止すると、メディア内のファイルが一覧表示(ファイルリスト表示)されます。(画像ファイルの場合は26ページ参照。音楽ファイルは再生中でもファイルが一覧表示されています。)画面表示の意味は下記のとおりです。



カーソルの移動は ▲▼ ボタンで行います。

カーソルで選択した状態で **決定** ボタン（または **▶▶** ボタン）を押すとそのファイルが再生されます。画像ファイルにカーソルを合わせるとサムネイルが表示されます。（26 ページ参照）

フォルダごとの表示方法にすることもできます。フォルダ表示に変更するには、リモコンの **フォルダ/EPG** ボタンを押します。



フォルダの内容を表示するには、そのフォルダにカーソルを合わせて **決定** ボタンまたは **▶▶** ボタンを押します。上のフォルダに戻るには **◀** ボタンを押すか、「..」にカーソルを合わせて **決定** ボタンを押します。

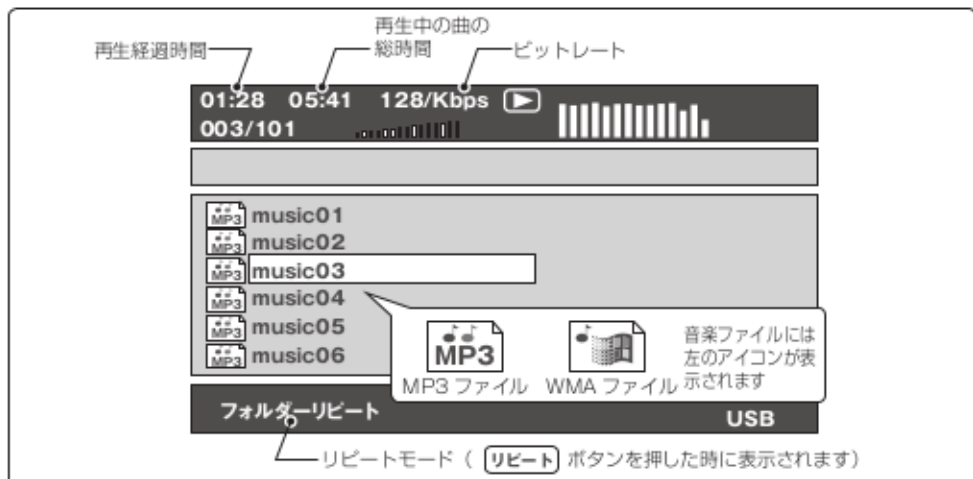
ファイルリスト表示に戻すには、**フォルダ/EPG** ボタンを押します。

※ルートフォルダ以外にフォルダが存在しない場合、フォルダ表示はできません。

※ファイルリスト表示、フォルダ表示ともに、原則的に本製品で再生可能なファイルのみが表示されます。（一部、再生不可能な動画ファイルが表示される場合があります。エラーメッセージが出ますので、その場合は再生しないでください。）

●音楽ファイルの再生

音楽ファイルを再生するには、再生したいファイルにカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押します。停止するには **■** ボタンを押します。
再生中は画面上部に再生経過時間、総演奏時間等が表示されます。



基本的な操作（スキップ（前後曲・番号指定）／早送り・早戻し／リピート再生）は音楽CDの操作と同様です。21 ページを参照してください。

音楽ファイルの再生と同時に画像ファイルを表示させることができます。

音楽ファイルを先に再生させ、その後に画像ファイルを選択し、表示させてください。画像ファイル表示中は、スキップや停止などのボタン操作は画像ファイルに対して優先されます。

○再生リスト（プログラム再生）

ファイルリスト表示でファイル名にカーソルを合わせた状態で **アングル** ボタンを押すと再生リストに追加されます。

再生リストを表示するには、**プログラムEPG** ボタンを押します。（**プログラムEPG** ボタンを押すことに「フォルダ表示」→「ファイルリスト表示」→「再生リスト表示」の順で切り替わります。）

再生リストを再生するには、先頭のファイルにカーソルをあわせて **決定** ボタンを押します。再生リストからファイルを削除するには、削除したいファイルにカーソルをあわせて **アングル** ボタンを押します。

再生リストはメディアを切り替える、電源を OFF にすると削除されます。

●動画ファイルの再生

本製品では、AVI / MPEG / MPEG2 / FLV などの形式の動画ファイルを再生することができます。(対応形式であっても再生できない場合があります。)

動画ファイルを再生するには、再生したいファイルにカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押します。

停止するには  ボタンを押します。



動画ファイルには
上のアイコンが表示
されます

基本的な操作 (スキップ/早送り・早戻し/リピート再生/拡大表示) は DVD の操作と同様です。16 ページを参照してください。

※タイトル/チャプターがないため、番号指定のスキップは行えません。

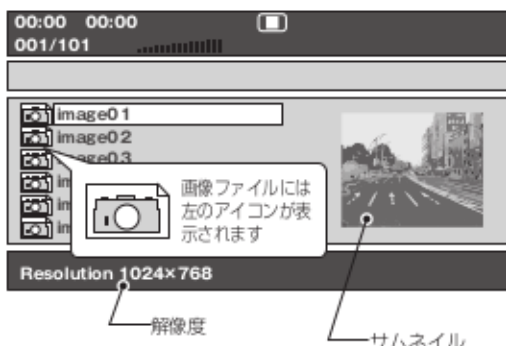
※字幕や音声の切替は行えません。

●画像ファイルの表示

本製品では、JPEG 形式の画像ファイルを表示することができます。(対応形式であっても表示できない場合があります。) 表示したい画像ファイルにカーソルを合わせるとサムネイルが表示されます。**決定** ボタンを押すと全画面表示されます。

画像表示時は、**ズーム** ボタンで拡大/縮小表示、 で回転、 で反転 (上下・左右) 表示ができます。

画像は連続再生されます。リピートモードを変更するには **リピート** ボタンを押します。一つの画像のみを表示させたい時は、表示中に  ボタンを押して一時停止します。



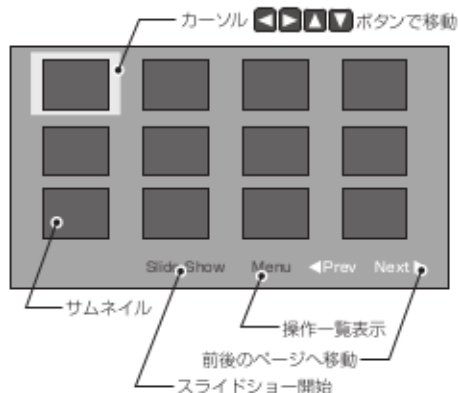
表示を終了するには  ボタンを押します。

 ボタンを押すとサムネイル一覧 (右図参照) が表示されます。カーソルを移動させ、**決定** ボタンを押すとスライドショーが再開されます。

サムネイル一覧画面で前後のページに移動するには  ボタンを押します。

スライドショーを終了するには最後まで画像を見るか、**メニュー** ボタンを押します。

▼スライドショー画面 (サムネイル一覧)



6-4. テレビ放送を視聴する

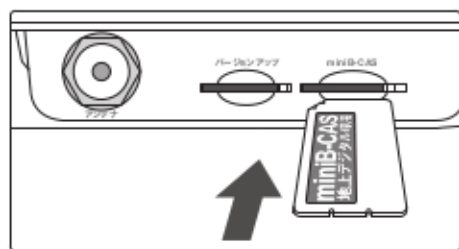
●mini B-CASカードのセット

テレビ放送を視聴するためには、miniB-CASカードを本体にセットする必要があります。(7ページの注意事項を参照してください)

セットや取り外しの際は必ず電源をオフにし、AC電源も外してください。

miniB-CASカードは本体左側面にあるスロットに、切り欠きが奥に、印字面が上になるように差し込みます。カチッと音がするまで押し込み、手をはなしても出てこないことを確認してください。

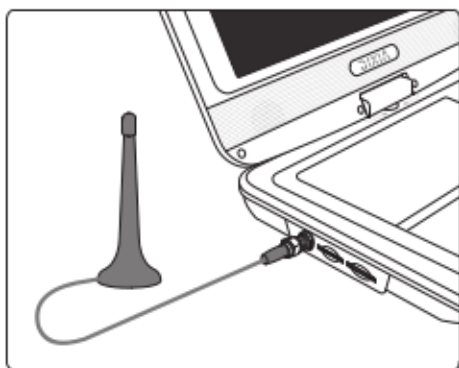
※故障の原因となりますので、ICカード端子部に手を触れないようご注意ください。



●アンテナの接続

次に、本体左側のアンテナ端子にアンテナを接続します(右図参照)。本体端子のネジ部にあわせ、アンテナ側のナットを回らなくなるまでしっかりと取り付けてください。

本製品付属の室内アンテナの場合、鉄筋の建物内など設置環境によっては受信感度が悪く、テレビ放送を視聴いただけない場合があります。特に地上波デジタル放送(フルセグ放送)を視聴されたい場合は、ご家庭のアンテナ端子等からアンテナコード(別売)で接続してのご使用をおすすめいたします。



※本製品では地上波デジタル放送(フルセグ)・ワンセグ放送の両方を視聴可能です。フルセグ放送受信中に受信感度が低下すると自動的にワンセグ放送の視聴に切り替わります。

※受信環境によってはフルセグ・ワンセグ放送どちらも放送を受信できない場合がございます。

※ご家庭の壁面アンテナ端子に接続して放送を受信できれば、付属のアンテナで受信できなくとも、本体の故障ではございませんので、ご了承ください。

●TVモードへの切換

本体またはリモコンの **機能切換** ボタンを押します。

※「DVDモード」→「AV入力」→「TVモード」モードの順で切り替わります。

●受信チャンネルのスキャン

製品出荷時には受信チャンネルは設定されていません。

はじめてTVモードになると、自動的に受信可能な放送局のスキャンが始まります。

受信チャンネルスキャンを手動で行うには、本体の **USB/CARD** ボタン、またはリモコンの **USB/SD/サーチ** ボタンを押します（受信チャンネルスキャンは設定画面からも行えます。29ページ参照）。受信可能な放送チャンネルをスキャンし、セットします。チャンネルスキャンを行うと、それまでセットされていた放送チャンネルはリセットされます。

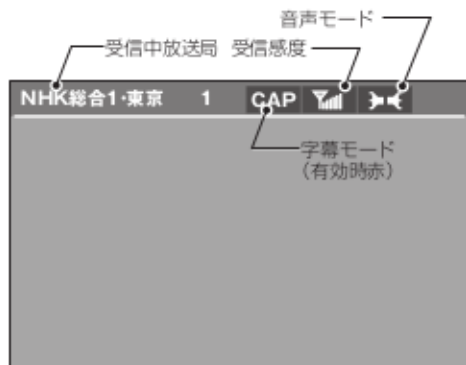
受信チャンネルスキャンは数分かかる場合があります。

●視聴するには

チャンネルを切り替えるには本体の **▲▼** ボタン、またはリモコンの **▲▼** ボタンを押します。リモコンの数字ボタンでもチャンネルを切り替えられます。（**10+ 0/10** ボタンは使いません。二桁の数字を入力するには **1~9** ボタンを続けて押します。）

チャンネルが変わり、受信が始まるまで数秒程度の時間がかかります。

音量は **音量+** **音量-** ボタンで調節します。



音声 ボタンで左右音声の切り替え、**字幕** ボタンで字幕（対応番組のみ）の表示の切り替えが行えます。これらのボタン操作や、数字ボタンでのチャンネル操作後、画面上部に情報バーが数秒表示されます。

●番組表の表示

7075A/EPG ボタンを押すと番組表が表示されます。

▲▼ ボタンでカーソルを移動し **決定** ボタンを押すとその番組の詳細情報が表示されます。戻るには **アングル** ボタンを押します。

視聴予約などはできません。

●放送局リストの表示

セットされた放送局を一覧表示させることができます。リモコンの **表示** ボタンを押します。**▲▼** ボタンでカーソルを移動させ、

決定 ボタンを押すと選択した放送局を視聴できます。

画面下部には選択中の放送局の現在の放送番組と次の番組名が表示されます。

この表示を終了するには **表示** または

アングル ボタンを押します。

フルセグ	ワンセグ	1/20
		☒ 1 NHK総合1・東京
		1 NHK総合2・東京
		2 NHKEテレ1東京
		2 NHKEテレ2東京
06:00 NHKニュース		
06:15 天気予報		

●設定メニュー

設定 ボタンを押すとテレビの設定メニューを表示します。

▲▼ ボタンでカーソルを移動させ、**決定** ボタンを押すと選択した項目を実行します。前の画面に戻るには **アングル** または **設定** ボタンを押します。

1/6	メニュー
	受信方法設定
	フルスキャン
	言語
	デバイス情報
	工場初期化
	中継局モード

「**受信方法設定**」は、受信方法をフルセグ/ワンセグ/自動から選択できます。初期値は「自動」です。

「**フルスキャン**」は、受信チャンネルスキャンを行います。**DVD/USB/SD オートサーチ** ボタンを押した時と同様です。28 ページ参照)

「**言語**」はテレビモードでのシステム表示言語を切り替えます。英語と日本語から選択でき、初期値は日本語です。

「**デバイス情報**」はシステムの情報を表示します。

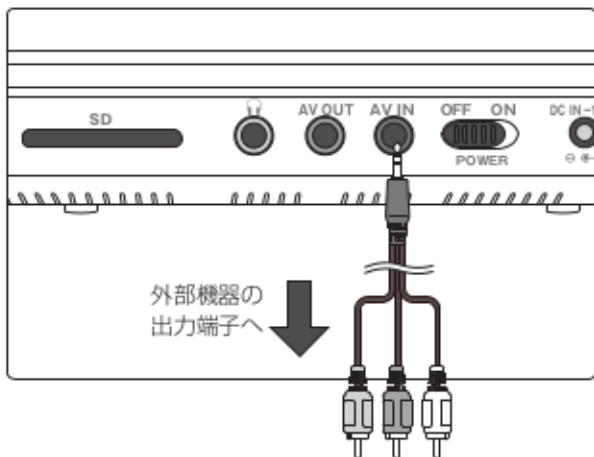
「**工場初期化**」はテレビモードの設定値をすべて初期化します。

「**中継局モード**」は、オートサーチ時に中継局、系列局のどちらを優先してサーチするかを設定します。初期値はオフです。

6-5. 外部機器を接続する

外部機器（ゲームやビデオ機器）の映像と音声を本製品のモニターで表示・再生させることができます。右図のように、「AV 入力」端子と外部機器を付属または市販の AV ケーブルで接続します。

本製品の電源を ON にし、本体またはリモコンの **機能切換** ボタンを押して AV モードに切り替えると、本製品で外部機器の映像と音声が再生されます。



※規格により、再生できない外部機器もございます。

※うまく表示されない場合、一般設定の「TV 画面」の項目、を確認してください。（31-32 ページ参照）

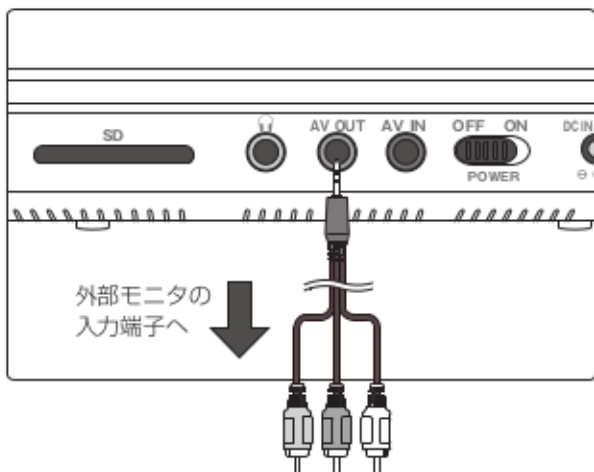
6-6. 外部モニタを接続する

本製品で再生する映像や画像を外部モニターで表示させることができます。

右図のように「AV 出力」端子と外部モニターを付属または市販の AV ケーブルで接続します。

※規格により、再生できない外部モニターもございます。

※うまく表示されない場合、一般設定の「TV 画面」の項目を確認してください。（31-32 ページ参照）

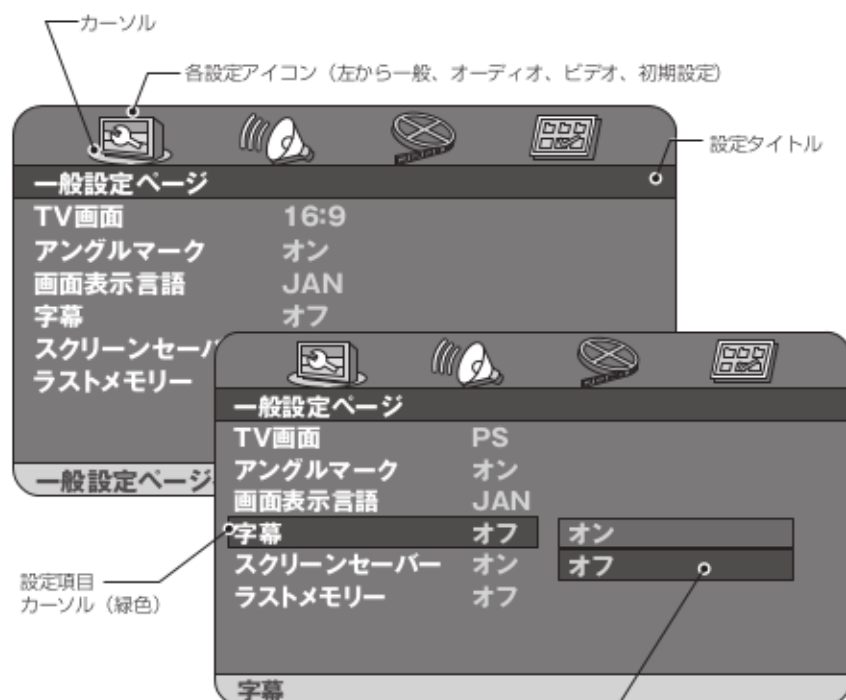


7 各種設定

設定画面では本製品にさまざまな設定をおこなうことができます。一度設定をおこなうとメモリに保存され、電源を OFF にしても保存されます。必要に応じて設定を行ってください。

設定画面を表示させるには、電源オン時に**設定**ボタンを押します。(DVD 読込中などはボタン操作が無効になります。また、TV モード時はこの設定画面は表示されず、TV モードの設定画面になります。29 ページ参照)

メディア再生中でも設定画面を表示させることができます。ただし、「初期設定」の項目はメディア再生中には設定変更ができません。



選択項目カーソル (現在設定中の項目は茶色の帯で示されます)

カーソルの移動は ◀▶▲▼ ボタンで行います。決定は **決定** ボタンを押します。各設定 (一般、オーディオ、ビデオ、初期設定) の移動は緑色のカーソル表示されていない状態 (設定項目が選択されていない状態) で ◀▶ ボタンを押します。(設定項目選択中は ▶ ボタンを押すと緑色のカーソルが表示されない状態に戻ります。)

7-1. 一般設定

設定項目	選択項目	説明
TV 画面	4:3/PS / 4:3/LB / 16:9	画面のサイズと比率を設定します
アングルマーク	オン/オフ	アングルマークの設定をします。ただし、アングルに対応していないディスクではオンにしてもこの機能は使えません
画面表示言語	英語/日本語	システムの表示言語を設定します
字幕	オン/オフ	字幕の表示を設定します。ただし、字幕が収録されていないディスクではオンにしてもこの機能は使えません
スクリーンセーバー	オン/オフ	オンにすると、停止中、一定時間操作がない時にスクリーンセーバーを表示します
ラストメモリー	オン/オフ	オンにすると、再生途中で電源が切れた場合、次に再生した時にその場面から再開します。

※太字は初期設定値

7-2. オーディオ設定

設定項目	選択項目	説明
スピーカー設定	LT/RT / ステレオ	音声効果の設定をします
ドルビーデジタル設定	デュアルモノ (ステレオ / 左モノラル / 右モノラル / ミックスモノラル) ダイナミック (OFF ~ FULL)	再生時の音声出力設定をします 音声信号のダイナミックレンジを圧縮します。音量が小さくても映画のセリフや音響効果などを聞き取りやすくします

※太字は初期設定値

7-3. ビデオ設定

設定項目	選択項目	説明
画質設定	シャープネス (高 / 中 / 低)	画質の鮮明さを設定します
	明るさ (-16 ~ 0 ~ +16)	画面の明るさを設定します
	コントラスト (-16 ~ 0 ~ +16)	画面のコントラストを設定します
	色調 (-9 ~ 0 ~ 9)	画面の色調を設定します
	彩度 (-9 ~ 0 ~ 9)	画面の彩度を設定します

※太字は初期設定値

7-4. 初期設定

設定項目	選択項目	説明
テレビタイプ	PAL TV / AUTO / NTSC TV	DVDの記録方式によって変更します
PBC	オン/オフ	ビデオCD再生時、PBCを有効にするかを設定します
音声設定	英語/フランス語/スペイン語/中国語/日本語/韓国語/ロシア語/タイ語	DVD再生時の音声言語を設定します
字幕設定	英語/フランス語/スペイン語/中国語/日本語/韓国語/ロシア語/タイ語/オフ	DVD再生時の字幕言語を設定します
ディスクメニュー	英語/フランス語/スペイン語/中国語/日本語/韓国語/ロシア語/タイ語	DVD再生時のディスクメニューの表示言語を設定します
ペアレンタル	レベル1 / 2 G / 3 PG / 4 PG 13 / 5 PGR / 6 R / 7 NC17 / レベル8 (アダルト)	ペアレンタルコントロールのレベルを設定します
パスワード変更	パスワードモード (オン/オフ)	オンにすると、ペアレンタルコントロールにより視聴制限に該当するDVDを視聴する際、パスワードの入力が必要になります (オフにすると視聴不可)
	パスワード変更	上記のパスワードを変更します。このパスワードはペアレンタルコントロールのレベル等を変更する際にも入力が必要になります。初期設定のパスワードは「1369」です
デフォルト	リセットオン	各設定を工場出荷時に戻します。ただし、ペアレンタルコントロール、パスワードモード、パスワードの設定は初期化されません

※太字は初期設定値

8 メンテナンス

●お手入れについて

本製品の外装部は、乾いた布で埃や汚れを拭き取ってください。また、分解や塗装はしないでください。

ディスクドライブのレンズは、市販のクリーニングキット等をご使用になり、適切な方法で定期的に清掃を行ってください。

●長時間使用しない場合は

ACアダプタをコンセントから抜き、ビニール袋等を掛け、高温になる場所や湿気、埃の多い場所を避けて保管してください。

●廃棄する場合は

本製品はプラスチック、電子部品、金属を使用しています。廃棄やリサイクルの際はお住まいの地域の自治体の規定に従って正しく処理してください。

9 トラブルシューティング

状 態	推測される原因と対策
●電源が入らない	○ACアダプタ、シガーソケットアダプタがコンセントに正しく接続されているかご確認ください。 ○充電電池の残量が少なくなっている可能性があります。ACアダプタに接続して使用してください。 ○強い磁力、ノイズを発する機器の近くでは正しく動作しない可能性があります。それらの機器から離して使用してください。
●スピーカーから音が出ない	○音量が0、または MUTE 状態になっていないか確認してください。 ○ヘッドホン端子にコードが接続されていないかご確認ください。
●再生できない	○対応しているメディア、ファイル形式か確認してください。 ○ディスクが汚れていないか確認してください。 ○ディスクが正しくセットされているか確認してください。 ○DVDのメニュー画面が表示されている場合、「本編再生」などの項目を選択しないと再生が始まらない場合があります。
●字幕が表示されない	○字幕切換の操作を行ってください。また、字幕が収録されていないDVDの場合は字幕は表示されません。
●音声切り替えられない	○複数の音声トラックが収録されていないDVDの場合、音声を切り替えることはできません。
●外部機器の映像が表示されない	○モードを切り替える必要があります。 機能切換 ボタンを押してください。
●リモコンで操作できない	○リモコンの電池の残量が少なくなっていないか確認してください。 ○本体の受光部に向けてボタン操作しているか、離れすぎではないかご確認ください。リモコンの有効範囲は最大約2mです。
●テレビが受信できない	○付属の室内アンテナの場合、受信環境によっては電波の感度が悪く、視聴できない場合がございます。その場合は壁面のアンテナ端子等と本体をアンテナコード(別売り)で接続してください。
●ワンセグテレビの画質が悪い	○ワンセグテレビは仕様上、フルセグの画質よりも劣ります。また、本製品の仕様上、本来の解像度から拡大表示をしているため、画質が悪いと感じられる場合がありますが故障ではありません。

うまく動作しないときは、まず上記の項目をチェックしてください。該当する項目がない場合、または対策を試しても直らない場合は、サポートセンターにご相談ください。

10 アフターサービス

①保証書

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日より1年間です。

②初期不良について

本体や付属品がはじめから破損、または不足している場合は、購入日と購入店を証明できる書類をご用意のうえ、14日以内に販売店または下記サポートセンターまでご連絡ください。14日を過ぎたの交換依頼には応じられませんのでご了承ください。

③修理を依頼される時

※保証期間中は製品に保証書を添えてお買上げ販売店へご持参ください。保証規定の記載内容により、無料修理致します。

※保証期間経過後の修理は、修理すれば使用できる製品については有料で修理を承ります。

※保証期間内外に関わらず、当社に直接お送り頂く際の送料は、お客様負担とさせていただきます。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買上げの販売店、または下記サポートセンターにお問い合わせください。

お願い

一度ご使用になった製品は、返品をお受けすることができませんのであらかじめご了承下さい。

ただし、あきらかに不備、不良と認められた製品につきましては、代替品と交換する準備がございます。その他の責は一切、お受けすることができませんのであらかじめご了承下さい。

お取り扱い方法についてのご相談およびアフターサービスのご案内

サポートセンター
電話番号 **03-6803-0191**

受付時間：10：00～12：00、13：00～17：00

（土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く）